

「すべての人が活躍できる愛知」を目指し、 産業人材の育成・確保の促進に取り組みます

とりまとめ
産業労働部産業人材育成課
人材育成グループ
内線 3440・3443
(ダイヤルイン)052-954-6365

予算額 69,993千円

企業における産業人材の育成・確保の取組を支援するとともに、青少年の科学技術やモノづくりへの関心を高めます。

愛知県産業人材育成支援センター事業費 15,421千円

◎産業人材育成連携コーディネーターによる産学行政の連携促進

- ・職業訓練・研修始め職業能力開発の情報提供・相談
- ・中小企業等の技能習得のための訓練、講師派遣等のコーディネート
- ・中小企業経営者向けに「あいち経営者人材育成塾」を開催
- ・職業教育の機関が遠隔地にあるために必要な人材育成が行うことができない中小企業向けの講習・セミナーを開催

ノーベル賞受賞者顕彰施設整備事業費 26,938千円

◎名古屋市科学館サイエンスホールでの整備に向け、名古屋市と共同で設計を実施

- 次代の科学技術を担う人材の育成や当地の先進性・魅力を発信するため、愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える施設を整備します。
- ・施設改修の設計、展示コンテンツの設計
 - ・名古屋市との協議や受賞者・関係機関との調整

あいちの担い手育成確保推進費 22,634千円

◎愛知県のモノづくり産業を支える人材の育成・確保

- ・企業OBを始めとした熟練技能者のデータベースを作成、中小企業等への技能指導
- ・中小企業魅力発信フォーラム、就職ミニ説明会の開催等

◎技能尊重の精神の醸成を通じた人材の創出

- ・技能五輪メダリスト等による小・中学校等での出前講座の実施
- ・中小企業若手技能者競技大会の開催
- ・少年少女技能大会（アイチータ杯）の開催



あいち人材強化プロジェクト
イメージキャラクター「アイチータ」

愛知の発明の日普及啓発事業費 5,000千円

◎愛知の発明の日記念講演会を開催

- ・開催日程 平成30年8月1日頃
- ・会場 名古屋市内

◎県内少年少女発明クラブの活性化を支援

- ・県内発明クラブの活動を紹介する展示会の開催
 - ・県外発明クラブ等の視察・交流会の開催
 - ・県内地域ごとに発明クラブ間ネットワークを構築
- 愛知の発明の日普及啓発ロゴマーク



8月1日は愛知の発明の日



技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県での開催と 技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を推進します

予算額 86,624千円

2019年度及び2020年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備を進めるとともに、2023年の技能五輪国際大会の招致に向けた取組を推進します。

1 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備

2019年度大会（11月開催）の実施計画策定や、選手の育成・強化、大会ロゴマークやイメージキャラクターを活用した広報等を実施します。

2 技能五輪国際大会の招致の推進

2023年の技能五輪国際大会の本県招致に向け、技能五輪国際大会の運営組織であるWSI（ワールド スキルズ インターナショナル）総会におけるPR活動やWSIによる検証訪問（現地調査）への対応等招致活動を推進します。

3 技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの派遣

技能五輪全国大会等への本県選手団としての参加や成績優秀者の表彰等を行います。

技能五輪全国大会

青年技能者（原則23歳以下）が40を超える職種で技能レベル日本一を競う大会

全国アビリンピック

障害者（15歳以上）が20を超える種目で日頃職場などで培った技能を競う大会

技能五輪国際大会

2年に1度、世界各国・地域等の予選会等を勝ち抜いた青年技能者（原則22歳以下）が一堂に会し、およそ50の職種で技能レベル世界一を競う大会

産業労働部産業人材育成課
技能五輪・アビリンピック推進室
内線 3426・3451
(ダイヤルイン)052-954-6875

全国大会ロゴマーク



AICHI
2019-2020

全国大会スローガン

「その技に 誇りと感動 あいちから」

人手不足対策を強力に推進します

予算額 238,490千円

とりまとめ
産業労働部就業促進課
業務・調整グループ
内線 3430・3431
(ダイヤル)052-954-6363

若年者・高齢者・障害者等に対するきめ細かな就労支援に取り組むとともに、県外からの人材や外国人等の雇用確保により中小企業を始めとした県内産業の人手不足対策を強化します。

○ 若年者雇用対策 37,322千円

◆学生に中小企業へ目を向けていただくための取組

中小企業経営者と学生との交流会を開催するとともに、「メッセナゴヤ2018」に学生向け企業研究支援ブースを出展

◆ヤング・ジョブ・あいちの運営

ヤング・ジョブ・あいちにおいて、国と県が連携し、就職相談から職業紹介までをワンストップで支援

◆正規雇用拡大のための支援

若年求職者等を対象とした「就職支援塾」の開催及び中小企業を対象とした専門家派遣等の実施

○ UIJターンの促進 57,641千円

◆首都圏等県外からの人材確保

東京と名古屋にUIJターン支援センターを設置し、相談窓口での就労支援や県内企業の情報発信を実施

◆東三河地域の若者人材確保支援

東三河地域への若者の流入・定住を促進

○ プロフェッショナル人材の雇用支援 57,233千円

県内中小企業が抱える経営課題等を解決するプロフェッショナル人材のニーズ発掘とマッチングを支援

○ 障害者雇用対策 50,679千円

◆障害者雇用促進

障害者就職面接会の開催、雇用優良事業所の表彰を実施

◆障害者就労支援事業

中小企業への支援を強化するため、就労支援者の派遣、相談窓口の運営とともに、職場見学・実習を行うための企業開拓等を実施

◆中小企業応援障害者雇用奨励金

中小企業が初めて障害者を雇用した場合に奨励金（60万円）を支給

◆精神・発達障害者雇用促進事業

精神障害者の雇用の受け皿となる企業開拓を実施するとともに、精神障害者の就職や職場定着を支援

○ 高齢者・外国人雇用対策（新規） 35,615千円

◆高齢者雇用確保支援

県内の人手不足企業を中心に企業開拓を行い、企業と高齢者のマッチングを図るための就職面接会を開催

◆外国人労働者雇用確保支援

外国人雇用施策を検討するための意向調査を実施

◆介護分野外国人就職支援

永住者を始めとした就労制限のない外国人（定住外国人）に対する介護分野の就職支援訓練を実施

公共職業訓練を行う高等技術専門校を再編・整備し、機能強化を図ります

産業労働部産業人材育成課
 公共訓練グループ
 内線 3444・3445
 (ダイヤル)052-954-6364

予算額 427,760千円
 (外に債務負担行為 190,866千円)

高等技術専門校において、施設整備と組織の統廃合・再編を一体的に進め、中小企業支援のためのモノづくり人材育成機能の強化を図ります。

平成30年度は、翌年度以降の組織の統廃合・訓練コースの見直しを見据えて施設や機器の整備を進めます。

- 1 名古屋高等技術専門校整備費 208,402千円
 (外に債務負担行為 190,866千円)

一宮校の電気コースの集約や組込システムコース新設などの見直しに伴い、必要な訓練機器や施設設備を整備します。

- 2 岡崎高等技術専門校整備費 154,850千円

三河地域の産業人材育成支援の拠点施設として、校舎建替のための基本設計を行います。また、高浜校の電気コースの集約などに対応するため必要な訓練機器を整備します。

- 3 施設設備整備費 64,508千円

東三河校において再編後も使用する建物の耐震工事等を行います。

◆県が実施する公共職業訓練 1,530,949千円
 普通課程訓練(学卒者対象) 4科 定員200人
 離転職者対象訓練(雇用セーフティネット対策訓練等) 269科 5,155人

スケジュール(予定)

校名	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)以降	2024年春頃
名古屋高等技術専門校	整備工事		
一宮高等技術専門校	廃止統合		
窯業高等技術専門校		組織再編:名古屋高等技術専門校 窯業校	
岡崎高等技術専門校	校舎建替 基本設計	実施設計	整備工事 完成(予定)
高浜高等技術専門校	廃止統合		組織再編: 三河高等技術専門校(仮称)
東三河高等技術専門校	耐震工事		一部コース移設 組織再編: 三河高等技術専門校 豊川校(仮称)